

# メリケントキンソウ

## ■名称

メリケントキンソウ（キク科植物） ※法令による特定外来生物等の指定はありません。



メリケントキンソウとは、南米原産のキク科の1年草です。全高は5cm程度で、地をはうように生えます。4月から5月ごろに花を咲かせ、6月から7月ごろにかけ、約2mm程度のトゲのある堅い実をつけます。繁殖力が強く、公園、芝生、道路脇などの日当たりのよい場所に生息し、現在では全国各地に生息しています。



## ■人体・ペット等に関わる被害

約2mmの堅い実にとげがありますので、手に触れたり裸足で歩くなどした場合、そのとげが刺さりケガをすることがあります。

また、散歩中のペットが肉球にとげを刺し負傷して、飼い主が気付かずに悪化してしまうケース等も考えられますので、ご注意ください。

※メリケントキンソウに毒はありません。

## ■駆除方法

手作業での抜き取り、刈り払いのほか、可能な場所では薬剤などによる駆除方法があります。とげの無い9月～3月に駆除を行うことが有効です。

駆除した後は拡散しないように袋で密封し、燃やせるごみとして処理してください。

## ■外来種を「拡げない」ために

靴で踏むと、鞋底にとげが刺さったまま移動することになり、本人の意思に関わらず生息域を拡大させてしまう場合があります。

生息拡大が進むと、在来種の植生への影響も懸念されるため、生態系の保全のために、外来生物を拡散させないように、ご協力をお願いします。